

令和 8 年 8 月 29 日

地域密着型サービス 運営推進会議 報告書

事業所名称…グループホーム大森の家

サービス種類…認知症対応型共同生活介護

会議開催日…令和 8 年 8 月 28 日

開催場所…事業所内ホール

出席者

事業所	3 人	利用者	0 人
利用者家族	1 人	地域代表者	0 人
松江市職員	0 人	包括支援センター	2 人
知見を有する者	0 人	その他 ()	0 人

議事

1、入居者状況

8 月 28 日現在 17 名入居中

男性 4 名 女性 13 名

平均介護度 2.4 平均年齢 88.1 歳

2、活動報告

7 月～8 月 20 日 老人健診

7 月初旬 七夕

7 月 23 日 職員全体会議

8 月 3 日 ハッピー号来訪

8 月 27 日 夏祭り

【今後の予定】

9 月下旬 敬老会

10 月 7 日～9 日 職場体験学習（宍道中学校 1 名）

10 月下旬～ 紅葉ドライブ

3、状況報告（7 月～8 月）

【利用者様について】

8 月になってからは、酷暑ともいえるべき気温の高い日が続き、屋内に居られても熱中症が危ぶまれる事態が続いていたが、水分補給や室温の管理などで現時点、熱中症が疑われるような症状のある利用者様はおられない。まだまだ暑い日が続きそうなので、引き続き気をつけていきたいと思う。

昨日、施設内ホールにて夏祭りを開催した。皆様、子供に戻ったような屈託のない笑顔で、

楽しまれていた。獲得した得点によって景品の数が増えるゲームでは、何度も行われる方もいらっしやった。

夏の間は、ドライブなどもできず、なかなか楽しみを感じていただける機会が少ないので、屋内でも楽しめる催しをして良かったと感じた。

7月、8月に相次いで利用者様の看取りを行うことになった。

見守り支援システム“眠りコネクト”を導入してから初めての看取りを経験することになったが、利用者様の日々の呼吸数、心拍数などのデータから、状態の変化を確認し、看護師やかかりつけ医と相談の上、ご家族への連絡を迅速に行うことが出来たと思う。特に看取りの経験の少ない職員にとっては、データから利用者様の状態の変化を予測でき、冷静に対応することができたとの報告を受けた。経験豊富な職員だけでなく、経験の浅い職員でも同じ質の高いケアを行うためには非常に有効なシステムだと感じた。

【研修について】

8月26日しんじワーキング倶楽部研修会参加（2名）

令和8年度の動画研修を受講中

9月10日に実務者研修受講終了予定（1名）

意見交換

（包括）運営推進会議に地域の方（自治会の方、民生委員など）の参加はないのか。

（施設）以前は民生委員の方にご参加いただいていたが、現在の参加はなく、平日の参加については難色を示される方が多い。

（包括）近隣の介護施設などとの協力関係は構築されているのか。

（施設）当施設の近くには介護施設などはなく、協力体制をとれる施設は現時点ではない。

（包括）そういった状況であれば、なおさら地域の方との関わりを強くしていく必要があると考えるがそのための対策などには何かあるのか。

（施設）11月に自治会と共催して避難訓練を行う予定になっており、それもきっかけにして地域との連携を深めていきたい。

※事業所確認欄

☐ 活動報告についての評価を受けることができたか。	☐
☐ 要望・助言等受ける機会を設けたか。	☐